

本校のキャリア教育の概要

1) 総合的な学習の時間

2年生の総合的な学習の時間を「ゼミ学習」として展開している。2年生の正副担任等が指導者となり人文科学系、社会科学系、人間科学系、自然科学系、工学系、医療・看護系、芸術系、生活科学系の8ジャンル13～16ゼミを開設し、生徒は進路希望等に応じて所属ゼミを選択する。その後、各自のテーマを設定し、調査・発表・討論を行い、さらにゼミ代表による学年発表会を行う。

目標は、探究的活動や学び合いを通じて進路検証を行い大学でのミスマッチを防ぎ学びを充実させるという「高大接続」の改善を目指すことである。

生徒の評価（別表参考）によると毎年概ね好評価を得ており、発表の中には独自の課題を追究して進路選択・決定につながるものも多い。

一方、積極的な取り組みが半数、独自の考察まで至った生徒が3分の2と、依然改善の余地を残している。特に事前学習の拡充や教科学習との連携を図る必要がある。入試改革でこうした探究活動が重視されることから一層の充実を目指していきたい。

2) 課題研究

自然科学コースでは、2年生の1年間を使って、自分たちでテーマを考え、実験による検証を行うという探究活動を実施している。物理・生物・化学・天文・数学など興味を持った分野に分かれ、2～3人のグループで取り組んでいる。2月にはクラスの仲間に加えて成果を発表するほか、3月には全校集会で代表者の発表を実施している。

具体的なテーマとしては「永久機関」、「真空」、「クリップモーターカー」、「風力発電」、「プラナリアの発生」、「ザリガニ」、「果物電池」、「pHと細菌」、「乳酸菌」、「吸熱反応」、「納豆菌」、「星の数マップ」など興味深い発表がある。

自然科学コースはこれ以外に、校外研修として、藤前干潟、核融合科学研究所、サイエンスワールドに行き体験的な学習を実施しているほか、サイエンスワールドのサイエンスフェアや地元の公民館の科学教室で小学生向けに科学の楽しさを伝える科学ボランティアを行っている。また校内でも岐阜大学の先生などの研究者を招いて年数回講義を聴くという「出前講座」を実施している。

生徒たちの中には、こうした独自の教育課程で学んだ成果を推薦入試やAO入試で発揮したり、大学での学びに活用している者も多い。

3) 探究ゼミ

総合的な学習の時間のゼミ学習の発展系として、2年生の1月から約1年間にわたり探究ゼミを実施している。国公立大学や難関私立大学の推薦入試・AO入試を目指す生徒たちが自主参加している。

年度	名古屋		筑波			岐阜	愛知教育	都留文科	信州	兵庫県立	岐阜県立	立命館	南山	受験者数	推薦合格	一般合格
	教育	経済	人間	人文	社会	教育	教育	教育	経済	経済	看護	歴史	心理			
18	1	2	1			C1		1						14	6	3
19	1													7	1	5
20	2											①		4	3	1
21	1	2	①	1			C1		1	1	1	①	①	17	11	4
22	2	1			1		1				1			7	6	1
23	1	1									1		①	10	4	3
24		1							1					6	2	2
25	1						1				1			6	3	1
26	1			①							1			3	3	0
計	10	7	2	2	1	1	3	1	1	2	5	2	2	74	39	20

※ Cは枠外有り推薦、○数字はAO (AC) 入試合格者、一般合格は国公立大合格者のみ、年度は実施年度
【過去のゼミ生の推薦・AO入試における合格校・合格者数】

学習内容は、まず論理的思考力や教養の育成を目標とする小論文や英語長文読解などの基礎学習を行う（2年次及び長期休業中、3年次早朝補習）。次に各自のテーマをもとにした課題研究を行い、発表・討議により研究を深め、最後に小論文やレポートにまとめる（3年次放課後）。

過去9年間に160人が参加登録し、推薦・AO入試受験まで継続した生徒が74人（参加者の46.3%）、推薦入試で国公立大学または難関私大に合格した生徒が39人（受験者の52.7%）、一般合格も含めた国公立大学または難関私大に合格した生徒が59人（受験者の79.7%）である。

合格実績以外の成果としては、①進路検証、②学び方の学習、③自己の発見・発掘、④学ぶ意義の再確認などがみられた。高大接続だけでなく、大学院や就活・職場での活躍などの成果もみられている。

一方、総合的な学習の時間のゼミ学習と同様の課題以外に、探究ゼミの指導者の育成やその教育課程上の位置づけ、一般入試との両立などの課題がある。

4) 職業まるわかり講座

1年生を対象に10月の第1土曜午前に保護者や育友会・同窓会の協力を得て職業講話を実施している。職業観や人生観を充実させると同時に、職業からみた学部選びや大学選びも考慮し、適切な文理選択を実施するための行事として位置づけている。

生徒は5月の連休課題の一つとして保護者や知人、恩師など社会人に職業インタビューをしてまとめるという「職業調べ」を行う。その後調べた内容をレジュメにまとめクラスで発表会を行う。さらに学年発表会を行い、その中から生徒に好評であった発表の対象となった社会人に「職業まるわかり講座」の講師を依頼する。

生徒は事前調査で選択した2講座に参加して話を聴く。講座により生徒の評価は分かれるが、総じて好評（平成23年度の評価ではとても良かったが76.7%、良かったが21.7%）である。講師の中には次年度の講師候補に申し出てもらえる人もあり、その思いが生徒たちに伝わり、生徒の中には将来の目標とする職業と考えたり、生き方として影響を受ける者もいる。

しかし、1年生での総合的な学習の時間が削減されたことで、事前学習としての「職業調べ」を十分に行えないということが課題となっている。このため活動に協力してもらえる保護者が減り、行事の在り方について見直しをしなければならなくなっている。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成26年度
1	樹脂開発	情報処理	鉄道運転手	銀行員	小学校教諭
2	清酒醸造	保育士	放射線技師	エンジニア	通訳
3	溶接工	介護士	薬剤師	地方公務員	地方公務員
4	建築士	栄養士	管理栄養士	看護学校講師	看護師
5	陶芸家	臨床工学技士	保育士	看護師	歯科医師
6	学者（医学）	建築士	小学校教師	システムエンジニア	銀行員
7	看護師	自動車	救急救命士	消防士	起業家
8	介護士	銀行員	児童厚生員	建築士	税理士
9	保育士	看護師	国家公務員	税理士	建築士
10	調理師	警察官	獣医師	会社経営	
11	パティシエ	地方公務員	会社員：製紙	会社員：営業	
12	司書	税関	看護師		
13	情報処理				
14	地方公務員				

※ 平成25年度は外部イベントに参加し代替とした。

【職業まるわかり講座の年度別講師内訳】

5) 先輩と語る会

1年生が「職業まるわかり講座」に参加する10月の第1土曜午前に、2年生を対象に卒業生との語る会を実施している。前半は代表者によるパネルディスカッションを全体で行い、後半の学部別分科会で生徒は2つずつ分科会に参加する。

卒業生は基本的に大学生とし、生徒たちにとって年齢が近い先輩と語り合うことで進路について考え検証する機会としている。学年はばらばらであるが、大学生活について習熟し就活について

でも最新の情報を提供してくれる大学4年生を中心に依頼する。大学の関係者による説明会とは違い、大学生からの大学生活についての生の声を聴くことができるということで、より実際的な交流の場となっている。参加する卒業生は「後輩のために」と意気を感じて、熱心に話に応じてくれる。

一方、話をした先輩に影響を受け自分の進路モデルとした生徒や卒業後に先輩のようにこの会に参加したいと思う生徒もいる。

年度	参加した卒業生の勤務先、大学・学部
H24年 14人	名古屋：教×4、：経、金沢：文、岐阜県立看護×2、長野県看護、信州：経、愛知県立：外、立命館：文、南山：心、日本福祉
H25年 20人	東濃信用金庫、名古屋：教、：理×2、：工×2、金沢：文、筑波：文、：教、愛知教育、名古屋工業：工、岐阜：応生、信州：経、愛知県：外、南山：心中京：文、日赤豊田看護、星城：医技、中部：医技、名古屋学芸：養護教諭
H26年 29人	一宮児童相談センター児童福祉士、東濃信用金庫、名古屋大大学院：教、名古屋：教×2、：経、：情、：看、：工、：理、名古屋工業：工、愛知教育、愛知県立：外、岐阜：地域、：工、岐阜県立看護、富山：工、南山：外、岡山県立：福祉、信州：農、：文、島根：生物資源、岐阜聖徳学園：教×3、立命館：産社、至学館：健康、名城：薬、名古屋学芸：養護教諭

【先輩と語る会の年度別参加者内訳】

6) 学部学科講話

2年生の11月に木曜日の午後を使い、大学の先生を招いて大学の講義を聴く機会を設けている。生徒の進学希望の多い大学を選び、学部が重ならないように配慮する。一講座50～60分に設定して、生徒はそれぞれ2講座を受講する。目的は進路目標の選択と検証である。講座によって生徒たちの評価は分かれるが、全体的には好評である。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成25年度	平成26年度
1	名古屋：教育	名古屋：理学	名古屋工業：情報	金沢：医療技術	信州：理学
2	岐阜：応用生物	名古屋工業：工	岐阜：応用生物	福井：教育	信州：工学
3	名古屋工業：工	岐阜：応用生物	三重：文学	岐阜：工学	岐阜：応用生物
4	立命館：経済	愛知県立：外国語	三重：経済	岐阜：応用生物	三重：法学
5	南山：外国語	南山：人文	富山：理学	岐阜：看護	富山：経済
6	椋山女学園：栄養	椋山女学園：栄養	南山：法学	三重：文学	南山：外国語
7	中部：工学	名城：工学	愛知：外国語	静岡文化芸術：文化	南山：経済
8	大同：工学	愛知学院：薬	愛知学院：史学	愛知県立：外国語	中京：史学
9	愛知淑徳：文	中部：看護	愛知淑徳：心理	岐阜：地域科学	中京：情報
10	岐阜聖徳学園：教育	星城：医療技術	岐阜医療技術：看護	名古屋工業：工	中京：健康スポーツ
11	東海学院：心理	愛知淑徳：心理	藤田保健衛生：医療技術	南山：人文	愛知：文学
12	名古屋芸術：美術	中京：経済	名城：工学	名城：理学	愛知淑徳：心理
13	中京：情報	岐阜聖徳学園：教育	岐阜聖徳学園：教育	名城：農学	藤田保健衛生：医療技術
14	中京学院：看護		名古屋女子：栄養	中京：総合政策	岐阜医療技術：看護
15	名古屋学院：医療技術			中京：心理	岐阜聖徳学園：教育
16	名古屋短期：幼児教育			椋山女学園：栄養	椋山女学園：栄養
17	専門学校			愛知：国際	中部学院：福祉
18					金城学院：保育

※ 平成24年度は外部イベントで代替。

【学部学科講話の年度別講師内訳】

7) 進路講演会

一昨年度より1年生と2年生を対象に、佛教大学教育学部の原清治先生を講師に迎え、進路講演会を設けている。熱心な先生の人柄とユーモア溢れる軽妙な話口調に生徒が引きつけられ、進路選択や大学生活・就活などを考える有意義な機会となっている。

また昨年度より2年生を対象に、「進学マネープラン説明会」を実施している。講師はキッズコーポレーションの大木豪氏。生徒向けに学費や奨学金に関する生徒向け講演会を開いて欲しいとの保護者からの要請に応える形で実施した。具体的な事例の提示を受け多くの生徒たちが現実的な問題と取り組んだ。生徒の評価は概ね良好であった。

8) 外部イベントへの参加

外部イベントへの参加も生徒たちには刺激となり、進路意識向上や進路選択・検証のための有意義な機会となっている。以下に昨年度参加したイベントを掲載する。

- ① 6/14 ベネッセ進学フェア（3年生希望者、31人参加）
進学説明会、模試解説、大学のブースや実習などを体験できるコーナーもあり充実。
- ② 7/22 夢ナビライブ（2年生全員）
大学の先生による多様な学問の講義が受けられ生徒たちに好評であった。
- ③ 7～8月名古屋大学の杜（希望者、1年生17人、2年生5人、3年生12人参加）
名古屋大学中等教育センター主催の多様な講座に参加。他校生との交流もあり好評。
- ④ 3/16 マイナビ進学FESTA（1、2年生希望者、1年生90人、2年生60人参加）
自宅学習期間～春休み期間の指導の欠落を補充し進路意識高揚を図るために参加。

9) オープンキャンパスへの参加・大学見学会

2年生の夏休みの課題として、一人2校のオープンキャンパスに参加することを課している。6月の総合的な学習の時間を活用して実施校を比較して参加計画を立て、申し込みをさせる。多くは東海地区の大学を選択するが、中には北海道や沖縄の大学へ保護者と一緒に見学に行った生徒もいた。大学の中にはお祭りのようにイベント化していて、実態とはかけ離れた姿しか見せない学校もあるので、複数の学校の比較や平日の学校見学も勧めている。

なお、5月末の社会見学で、1年生は全員で一つの大学（昨年度は愛知県立大学）を、3年生はグループで京都の大学見学を実施している。

また、保護者の大学見学会も育友会主催で毎年9月末に希望者対象に行われている。昨年度は名古屋大学、愛知県立大学、中京大学を、一昨年度は静岡文化芸術大学、聖隷クリストファー大学を訪問した。行先により上下するが、バス2台程度の参加がある。大学での説明会に卒業生が参加してくれることもあり、保護者には好評である。

10) インターンシップ

毎年看護実習を中心に募集し、以下のような生徒が参加している。実際は実習先からの案内に基づいて募集をする。ただし中には実習先病院の受け入れ人数の関係で断られることもあり、生徒の希望通りに実施できていない。看護以外の実習先については、生徒から要望のあった職場に受け入れを打診することもあるが、生徒からの要望が少なく稀なケースとなる。今後開拓していかなければならないと考えている。

実習中に日誌を書いて事後にレポートを提出させ、礼状を出させるなどの指導をしているが、生徒の感想は良好で進路検証や職業観・進路意識の向上に役立っていることが分かる。ただし、短期間の貴重な機会を最大限に活用するために事前・事後指導をもっと充実させる必要がある。

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
県立多治見病院	15人(4,5,6)	3人(0,0,3)	9人(2,0,7)
多治見市民病院			10人(0,5,5)
土岐市立総合病院	6人(0,0,6)	14人(5,5,4)	
東可児病院		1人(0,1,0)	
木沢記念病院	1人(0,1,0)	4人(0,4,0)	
恵那病院			3人(0,3,0)
ジョイフル保育園			1人(0,0,1)
合計()内は1、2、3年生の内訳	22人 (4,6,12)	22人 (5,10,7)	23人 (2,8,13)

【インターンシップの年度別参加人数】